

中・下部更新統境界国際模式地に関する国際シンポジウム
プログラム案

日時: 2011年1月15日(土)・16日(日)

場所: 市原市 サンプラザ市原 2F (JR五井駅に隣接)

参加費: 一般1,000円(資料代込み), 学生500円(資料代込み)

主催: アジア太平洋第四紀層序委員会 (INQUA), 古関東深海盆ジオパーク認証推進協議会

後援: Japan Branch IUGS-GEM, The Japan Chapter on Medical Geology IMGA, 日本第四紀学会, 地質汚染-医療地質-社会地質学会, 日本地質学会第四紀部会, 日本地質学会環境地質部会, 市原市(予定), 京葉天然ガス協議会(予定), 千葉県地質業協会(予定), 千葉県観光協会(予定), NPO法人日本地質汚染審査機構, 地球汚染-医療地質研究センター

1月15日 会場: サンプラザ市原 プラザホール2F (100~150名分のテーブル付き椅子用意)

司会 会田信行、熊井久雄

10:00 挨拶 日本第四紀学会会長 遠藤 邦彦

祝電の披露: 千葉県知事(予定) 市原市長 佐久間隆義

10:20 熊井久雄 (Member of Commission on Stratigraphy and Chronology, INQUA) シンポジウムの意義と国際模式地選定経過

10:30 Prof. Martin J. Head (Member of Commission on the Stratigraphic of IUGS, Brock Univ., Canada) The Quaternary and its subdivision, with special focus on the Early-Middle Pleistocene boundary.

11:00 Prof. Brad Pillans (President of Stratigraphy and Chronology, INQUA, Australian National Univ.) Progress on the working group on the Lower Middle Pleistocene Boundary. (Tentative topic)

11:30 風岡 修 (千葉県地質環境研究室) 上総層群の層序と国本層中の中・下部更新統境界模式候補地.

12:00~13:00 昼食

13:00 会田信行 (千葉県立小見川高校) 国本層中の中・下部更新統境界の古地磁気層序.

13:30 五十嵐厚夫 (復建調査設計株式会社) 房総半島における中・下部更新統境界付近の底生および浮遊性有孔虫の生層序.

14:00 青木かおり (立正大学) 日本周辺海域の海底堆積物とテフラ層序.

14:30 里口保文 (琵琶湖博物館) 房総半島に分布する広域テフラとその年代.

15:00 高山俊昭 (→講演者変更予定) 石灰質ナノ化石層序 (仮題)

15:30 内山高 (山梨県環境科学研究所)・竹下欣宏 (信州大学) 白尾タフの給源火山とその年代.

16:00 休憩

(紙上発表: 楡井 久 (Officer, IUGS-GEM) 人工地層層序学からみた自然地質境界問題—古地磁気層序確立に不可欠な火山灰層 (客観的な時間的同一地層单元)—

16:15 総合討論

17:00 閉会の挨拶 楡井 久

(使用言語 英語、日本語)

1月16日 午前中、市原市田淵の中・下部更新統境界模式地候補地点の見学.

(10時田淵会館集合)